

こんにちは! 社協です!!

ふれあいネットワーク

2013

6月

No.96



平成24年度
事業・決算報告

少しずつ

特集
P2・3

見えてきたつながりの カタチづくり

つながりふくしプラン
2年次の取り組みを推進

ひ孫と
いっしょ

シリーズ95

一宮町 上岸田

日下 男也さん(83歳)

よしゑさん(79歳)

○凜乃ちゃん(3歳)

○弥子ちゃん(2歳)

日下 功士さん・慶子さん

■長女・次女

6つの自治会を
小地域福祉活動の
モデル地区に指定



鶴木、宇原、西深、福野、原、西河内の6つの自治会を指定し、福祉連絡会の活動の強化や見直しを社協と共に取り組んでいただいています。
指定期間は2年間(26年3月31日まで)です。
写真は西河内自治会のふれあいサロンの様子

自治会のふれあい
活動を支援



自治会のふれあい活動の支援として、活動費の助成や遊具の貸出、喫茶やサロンを運営するボランティアを対象とした研修会を行いました。
写真は、須行名自治会のふれあい喫茶の様子

男性介護者の会
を支援



男性介護者の会には、毎月の定例会の開催に協力するほか、パンフレットや会報の印刷代を助成するなどの支援を行いました。

写真は完成したパンフレットを持つ「男性介護者の会」のみなさん

少しずつ

平成24年度
事業・決算報告

見えてきた つながりの カタチづくり

つながりふくしプラン
2年次の取り組みを推進



24年度は
こんなことに
取り組んだよ!!

宍粟市ボランティア・
市民活動センター
イメージキャラクター
「ぼらんちゃん」

宍粟市社会福祉協議会では、5月28日(火)第22回評議員会を開催し、平成24年度の事業報告ならびに決算の承認を行いました。

平成24年度は、23年度に策定した「第2次地域福祉推進計画(つながりふくしプラン)」で2年次の取り組みとして掲げた活動を推進しました。

今月号では、24年度に社協が取り組んだ活動と決算の概要についてお知らせします。

このほかには…

○「支部かわら版」を2回発行

身近なニュースや話題を取り上げた「支部かわら版」を年間2回、それぞれの支部で発行しました。このかわら版の取材や原稿作成の一部は、理事や支部の地域福祉推進委員が担当し、一宮や波賀支部では福祉委員が全戸配布するなど、住民主体の取り組みや支部活動が動き始めています。

○理事と職員ですすめる業務研究会

つながりふくしプランを推進するため、役員と職員で研究会を立ち上げ、計画の中で掲げた4つのテーマについて、先進的な取り組みを進める社協へグループに分かれて訪問。宍粟市の状況との比較や分析を行いました。

研究の成果はグループごとにまとめ、12月15日(土)宍粟防災センターで行った発表会で関係者に報告し、全体で共有しました。

○介護サービスを利用しないための 予防活動

高齢者の介護予防として取り組む「通所型介護予防事業」は、4つの支部で542回実施し、のべ参加者数は7,803人となりました。

また、「配食サービス」を331回実施し、18,679食を配食しました。

○移動手段のない方の通院を支援

市の補助を受けた「外出支援サービス事業」は、市の指定事業者が増えたこともあり、利用者数は前年度に比べ33%減少し、のべ6,999人の利用となりました。

社協が独自に実施する市外の病院等への移送サービス「福祉有償運送事業」は、逆に利用者が30%増え、のべ1,798人の方に利用いただきました。移送サービスは、移動手段のない方々にとって、大切なサービスになっています。

24年度決算報告は、今月号でお届けする特別刷りの決算報告書のとおりです。

事業報告、決算報告の詳細については、本会ホームページでご覧いただけます。

ご確認ください。

<http://www.shiso-wel.or.jp>

新しい分野の ボランティア講座を実施



退職した方たちがボランティア活動を始めるきっかけづくりのために「セカンドライフ応援セミナー」や「傾聴ボランティア講座」を開催し、新しいボランティアグループを結成しました。

写真は「セカンドライフ応援セミナー」で視覚障がい者の介助方法を学ぶ受講生

第4回 宍粟市地域福祉の つどいを開催



「地域のつながりを太くして、ずっと住み続けたいまちへ」をテーマに2月10日(日)山崎文化会館で開催し、300名の参加がありました。

写真は実践発表をする福祉団体のみなさん

障がい者や高齢者の 権利をまもるために



福祉サービス利用援助事業は新規利用が8件、相談が483件あり、障がい者や高齢者の権利をまもるためになくてはならないサービスとなっています。

写真は、民生委員にサービスについて説明をする本会福祉サービス利用援助事業専門員

やさき

『字書き歌』

で宍粟に元気を!

IKB(五十波)発の取り組み

宍粟市では、難読地名でまちおこしの一環としてCMコンテストが開催され、山崎町五十波の大部正勝さんが特別賞を受賞されました。

この作品を基に、歌詞と曲を付け、さらに健康づくりになればと体操を取り入れた「宍粟市字書き歌」がこの度完成しました。



体操を披露する大部さん(写真左)
「宍粟」の漢字を表す動きが入っています(宍粟防災センター和室)

DVDも完成!

宍粟市字書き歌

- 出演:IKB(五十波)自治会のみなさん
 - 作詞:大部正勝さん
 - 作曲:地元の音楽教師OB
 - 振付:地元の健康体操講師
- 詳しくは大部さんのホームページへ
<http://masakatu.tenkomori.tv/>

(山崎支部 森井裕矢)

「この字書き歌で読み間違われないようにするだけでなく、みんなを元気に、宍粟に愛着を持ってもらえるようにしたい」と抱負を語る大部さん。
覚えやすい歌詞とメロディーが、地域のふれあい活動の場に広がり、宍粟を元気に、そして知名度アップにつながると思いますね。

みんなと出会える場

手芸教室が地域の憩いの場に

5月11日(土)、上野田の鉄矢敏郎さん宅を訪ねました。

鉄矢さん宅では、地域の方が集まり、手芸教室が行われています。

手芸を教えるのは妻の婦美子さん。参加者の健康状態や近況を伺いながら、世間話に花が咲きます。

「外に出るのもしんどくなつたけど、先生がよう誘ってくれて、これだけが楽しみ」と参加者の宮馬茂野さん(90)。

参加者最年長の秋田みつゑさん(95)は「近くに集まれる場所があるのは、ほんまにありがたいことです」と話されます。

鉄矢さんご夫婦



この日の参加者は5名。婦美子さん(写真中央)の指導で手芸を行い、手芸のあとはお茶を飲みながら、ゆっくりとお話を…

は、平成9年に姫路市から上野田に引っ越しされました。元々手芸を指導されていた婦美子さんが、地域の方々と交流ができたらとの思いから手芸教室をはじめられたものです。

今年で15年。今ではこの手芸教室が地域の高齢者の「憩いの場」となっています。(本部・宮支部 田中祥仁)

いのみや

は
が



「私が育てた花です」
花の種類は30種類にもなります

活動に取り組み合っています。
その一つが花づくりです。農
園メンバー5名が温室で苗から

花を通して広がるつながり

しろう自立の家の取り組み

5月25日（土）、
しろう自立の家（小
野）で開催された
オープンハウスに
は、120人を超え
る人が来場されまし
た。ものまねショー
や喫茶コーナーで入
居者と地域の人々が
ふれあいのひととき
を過ごされました。
なかでも目を引い
たのが、玄関や庭に
植えられた色とりど
りの花々でした。
しろう自立の家で
は、入居者が仕事と
してそれぞれの能力に合わせた



当日は苗の販売も。訪れた人たちは足を止めて買
われていました（しろう自立の家）

育てています。
この花苗を同じグループ施設
の「はりま自立の家」（一宮町
伊和）の花壇に植えたり、「チェ
シャージュップ&ベーカーリー」
（山崎町杉ヶ瀬）で販売したり
しています。はりま自立の家の
花壇の世話も農園メンバーの仕
事です。
「いずれば地域の中にプラン
ターを置かせてもらって、地域
のみなさんとのつながりをもち
たい」と指導員の藤多寿之さん
は話してくださいました。
丹精込めて育てた花々が施設
と地域の架け橋となり、町が彩
られれば素敵ですね。
（波賀支部 平 有利菜）

ち
くさ

「早う植えても、遅う
ても稲の成長にそう違
いはないもんじゃ」な
どと話がはずみます。
この日は保健師による血圧
測定や、「家の中の危険な場所」
「筋肉の貯金」についての話が
ありました。

地域の行事に合わせて、み
んなが集い交流できる取組み
が、これからも長く続くことを
願っています。
（千種支部 小原志のぶ）



「わしらでも田植えの時はちいとは助けになるでな」（岩野辺公民館）

田植えがすんだら『さなぼり』やで

岩野辺老人クラブ

5月31日（金）、岩野
辺公民館に老人クラブ
会員70名が集まり、『さ
なぼり』の食事が開
催されました。

岩野辺老人クラブで
は、地域の田植えやお
茶摘みが終わったこの
時期に、『さなぼり』を
開き、皆で豊作を願
い互いの労をねぎらう行
事が毎年続いています。

「準備が大変なんやけ
ど、代々世話になつと
るで、私も返してい
かなあかんしな」と女
性部長の杉本八千恵さ
ん。

第13回 ちくさボランティアまつり

楽しく体験しながら、ボランティアのことを知るコーナーや家族みんなで楽しめるコーナーなど盛りだくさん。お気軽にお越しください。



昨年の様子(千種保健福祉センター)

- 日時** 7月27日(土)午後1時30分～3時30分
- 場所** 千種保健福祉センター
(エーガイヤちくさ)
- 内容** ボランティア体験、出店、バザー、
ゲームコーナーなど
- 主催** 千種ボランティア連絡会
栄栗市社会福祉協議会
- お問合せ** 千種支部

ひょうごボランティア基金

平成25年度県民ボランティア活動 助成金事前申込(エントリー)のお知らせ

- ◆受付期間 7月1日(月)～8月30日(金)
- ◆助成金額 上限3万円

エントリーするグループが多い場合は、助成金額が減額となります(平成24年度実績:2万5千円)

昨年は栄栗から60グループが申請し、60グループ全てに助成金が交付されました

◆助成対象グループは

- ・兵庫県内において継続的にボランティア活動を行う法人格を持たないボランティアグループであること
- ・グループの構成人数が5人以上であること
- ・平成25年度中にグループで12日以上活動を行う予定であること
- ・助成の対象となる経費が、6万円以上あること

助成金についての詳細は、各支部へお問合せください。担当者が申請のサポートを行います。

お問合せ 各支部

ボランティア
センター日誌

みんなの心が一つに!



健康のためにみんなで体操

5月14日(火)
栄栗防災センター

山崎ボランティア連絡会の「平成25年度山崎ボランティアのつどい」が開催され83名が参加しました。

総会では、今年度の事業計画と予算が承認され、その後、ボランティアグループ栄栗少年指導委員会による寸劇「これって詐欺?」の鑑賞と谷口寛智子先生による健康の話と体操で体を動かしました。

参加者から「肩が軽くなったな」「先生の話に引き込まれるようだった。会場みんなが一つになった感じや」との声が聞けました。

これからも、みなさんの心を一つにして、さらに連絡会の活動が活発になるよう応援します。

(山崎支部 横山洋子)

波賀で!千種で!くボランティアの目> みんなのチカラでボランティア活動

はが

5月25日(土) しそう自立の家で
喫茶ボランティア



しそう自立の家オープンハウスのボランティア活動に8名が参加しました。お菓子や飲み物を運ぶなど、喫茶コーナーでの活動を中心に、お揃いの黄色のエプロンで活躍いただきました。

ちくさ

6月1日(土) 千種町内美化活動

千種ボランティア連絡会の呼びかけで、町内の道路沿いの清掃作業にボランティア100名が集まりました。拾ったゴミは分別すると土のう袋で30袋になりました。一致団結して、一つのことに取り組むのはいいですね。



読者の
感想より

配食のボランティアを始めました。入り組んだお家を覚えるのに一苦労です。でも、「ありがとう」が心にしみます。(山崎町 女性)

こんにちは!
社協です!!